

# UCS B シリーズ ブレード上の CIMC インバンド アクセスの設定例

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[CIMC](#)

[アウトオブバンド \( OOB \) とインバンド](#)

[インバンドアドレスは何に設定できるか。](#)

[インバンド管理のためのネットワークトラフィックからの同じアップリンクの使用  
設定](#)

[1. インバンドIPプールの設定](#)

[2. VLANおよびVLANグループの設定](#)

[3. インバンドプロファイルの設定](#)

[4. サービスプロファイルの設定](#)

[5. CIMCの設定](#)

[確認](#)

[KVM IPv4 または IPv6 の起動](#)

[トラブルシューティング](#)

## 概要

このドキュメントでは、Cisco UCS B シリーズ ブレードの Cisco Integrated Management Controller ( CIMC ) へのインバンド アクセスを設定する方法について説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Unified Computing System ( UCS ) Manager ( UCSM )
- CIMC

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Cisco UCS B シリーズ
- Cisco UCSM バージョン 2.2

- Cisco UCS M3 シリーズ ブレード サーバ

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

## 背景説明

### CIMC

Cisco UCS ドメインの各サーバには 1 つ以上の管理 IP アドレスが必要です。これらの IP アドレスは、サーバの CIMC に割り当てられるか、サーバに関連付けられたサービスプロファイルに割り当てられます。Cisco UCS Manager は、CIMC で終端する外部アクセスに対してこれらの IP アドレスを使用します。この外部アクセスは、次のいずれかのサービスを経由します。

- キーボード、ビデオ、マウス ( KVM ) コンソール
- Serial over LAN
- IPMI ツール

### アウトオブバンド ( OOB ) とインバンド

UCS ソフトウェアの以前のリリースでは、サーバの CIMC へのアクセスに使用される管理 IP アドレスは、OOB でのみアクセスできました。OOB では、トラフィックはネットワークへの管理ポートを経由してファブリック インターコネクトを通過します。

現在は UCS バージョン 2.2 を使用して、インバンド アドレスで CIMC にアクセスすることもできます。インバンド アドレスで送受信されるトラフィックは、ファブリック アップリンク ポートを経由してファブリック インターコネクトを通過します。

### インバンド アドレスは何に設定できるか。

CIMC へのインバンドアクセスを設定するには、2 つのオプションがあります。両方の設定オプションの概要については、「設定」の項を参照してください。次の設定が可能です。

- CIMC で直接設定します。IP アドレスはサーバに割り当てられます ( ステップ 4 )。
- サービスプロファイルで設定します。IP アドレスはサービスプロファイルに割り当てられます ( ステップ 5 )。

### インバンド管理のためのネットワークトラフィックからの同じアップリンクの使用

また、ネットワークトラフィックとインバンド管理に同じアップリンクポートを使用する場合は、次のいずれかを実行できます。

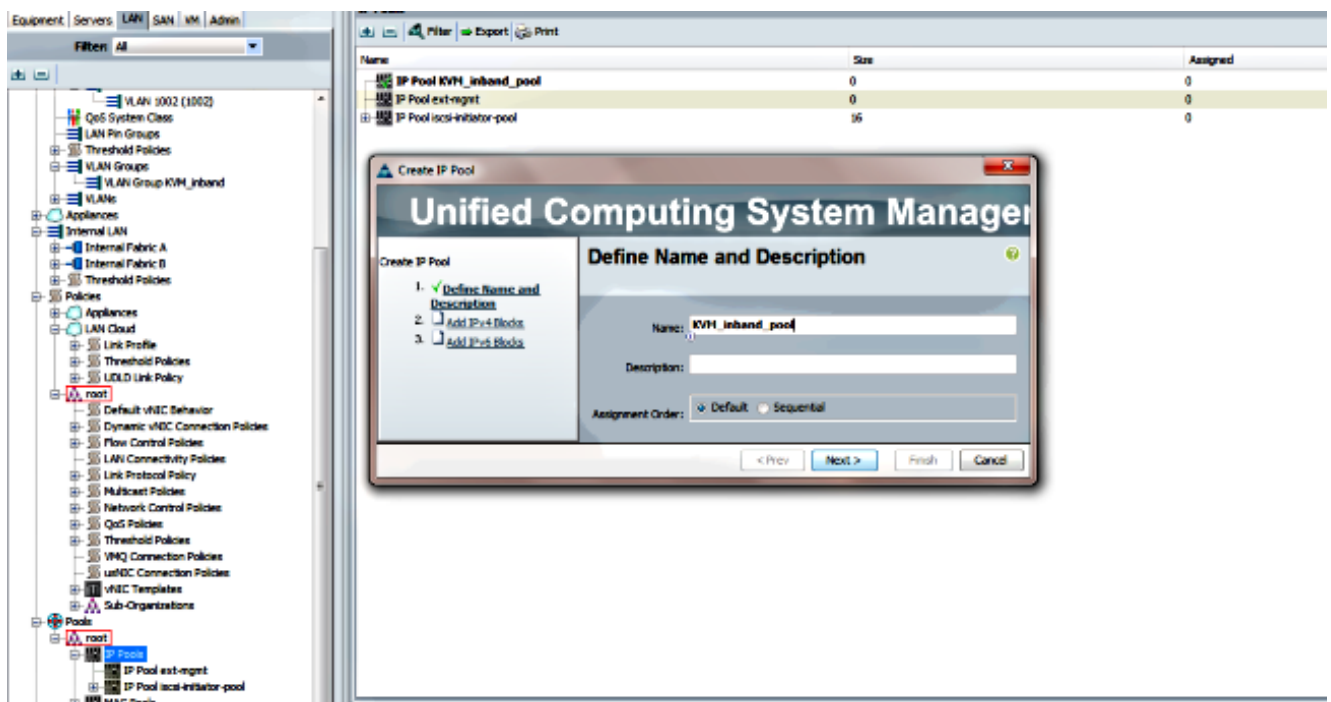
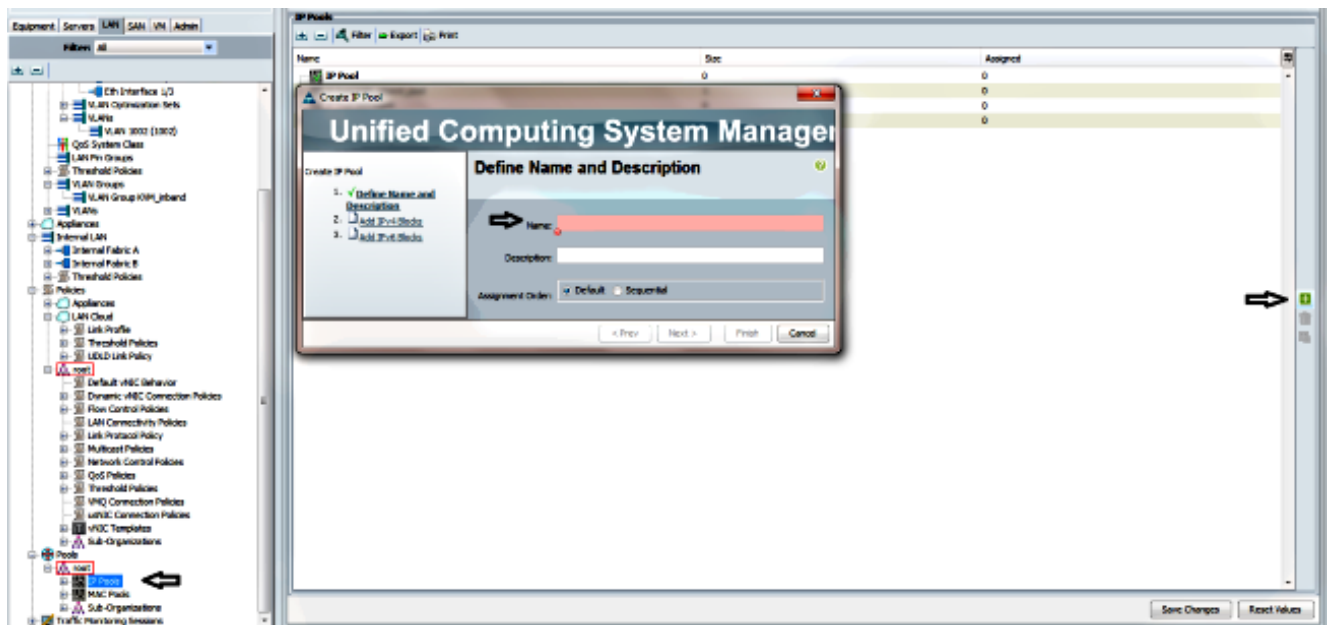
- VLAN グループをアップリンクなしのままにします ( ステップ 7 )。VLAN グループにはアップリンクを作成する必要はなく、すべての VLAN は引き続き使用可能なすべてのアップリンクポートからトランク接続する必要があります。
- 必要なすべての VLAN を VLAN グループに追加します ( 手順 6 )。VLAN マネージャを開き、トランキングする各 VLAN にアップリンクを追加します。

# 設定

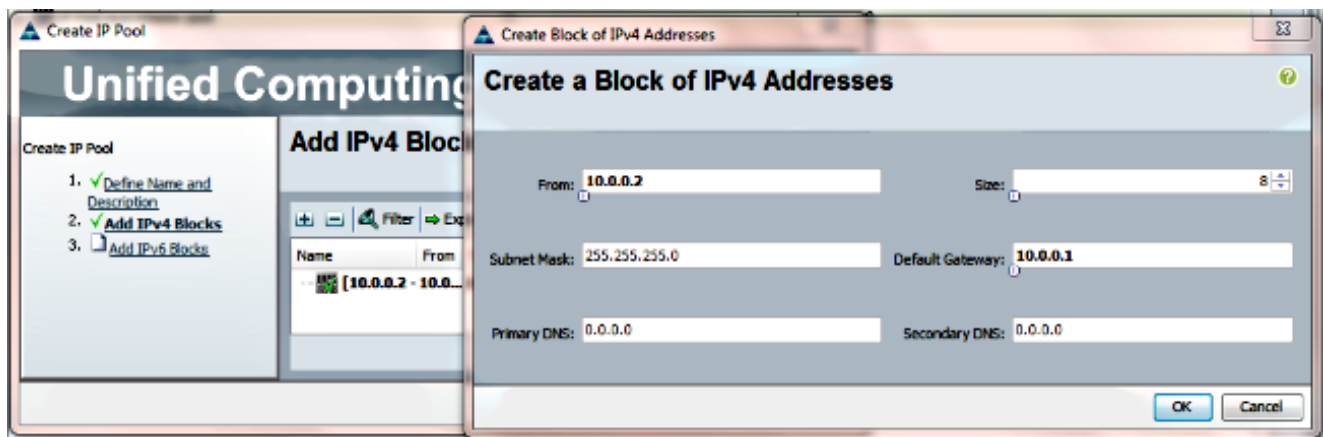
## 1.インバンドIPプールの設定

ここでは、IPv4 アドレス プールを作成する手順の概要について説明します。その IPv4 アドレス プールからインバンド IPv4 アドレスがサーバに割り当てられます。

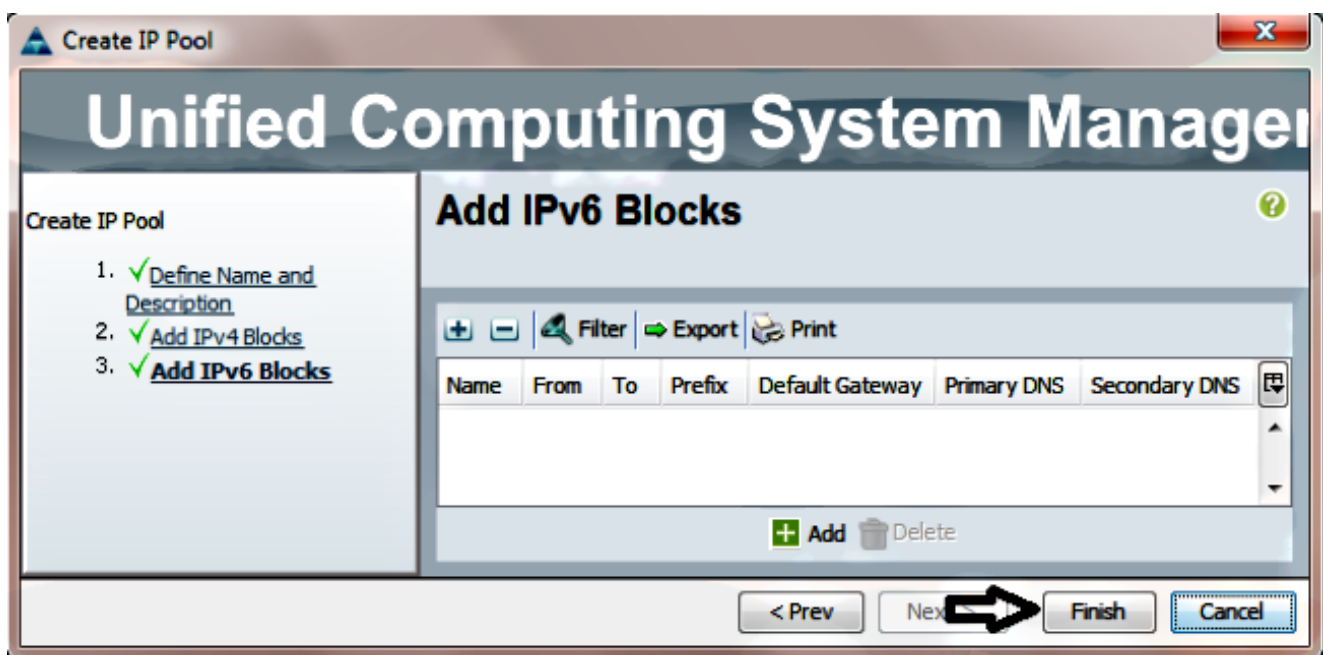
1. [LAN] タブ > [IP Pools] に移動します。
2. [+] アイコンをクリックします。
3. IP プールに名前を付けて [Next] をクリックします。



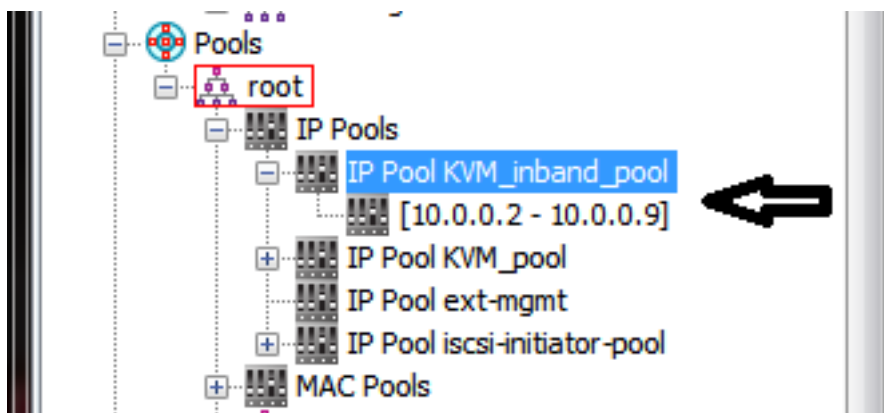
4. IPv4 アドレス ブロックを指定して [OK] をクリックします。



5. IPv4 アドレス ブロックが作成されたことを確認して、[Finish] をクリックします。



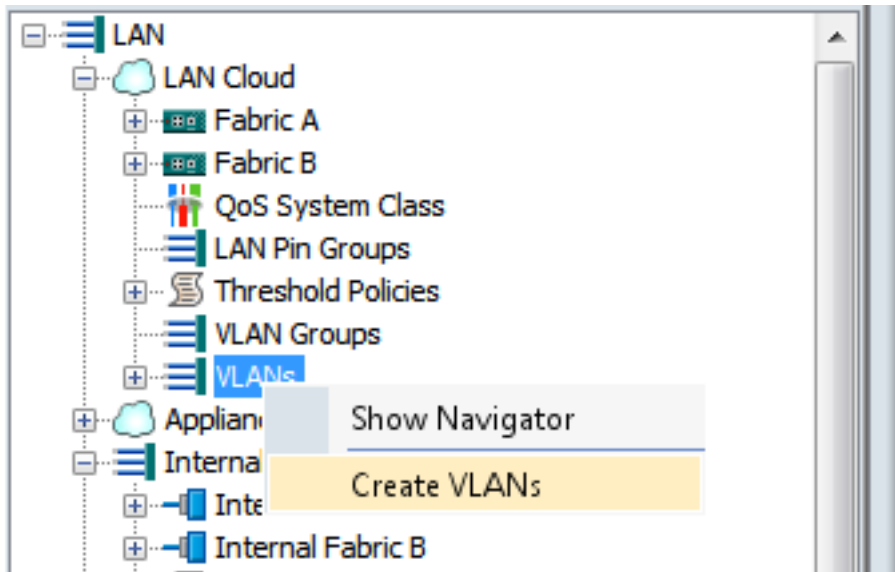
6. [LAN] タブ > [IP Pools] に IP プールの名前と範囲が表示されることを確認します。



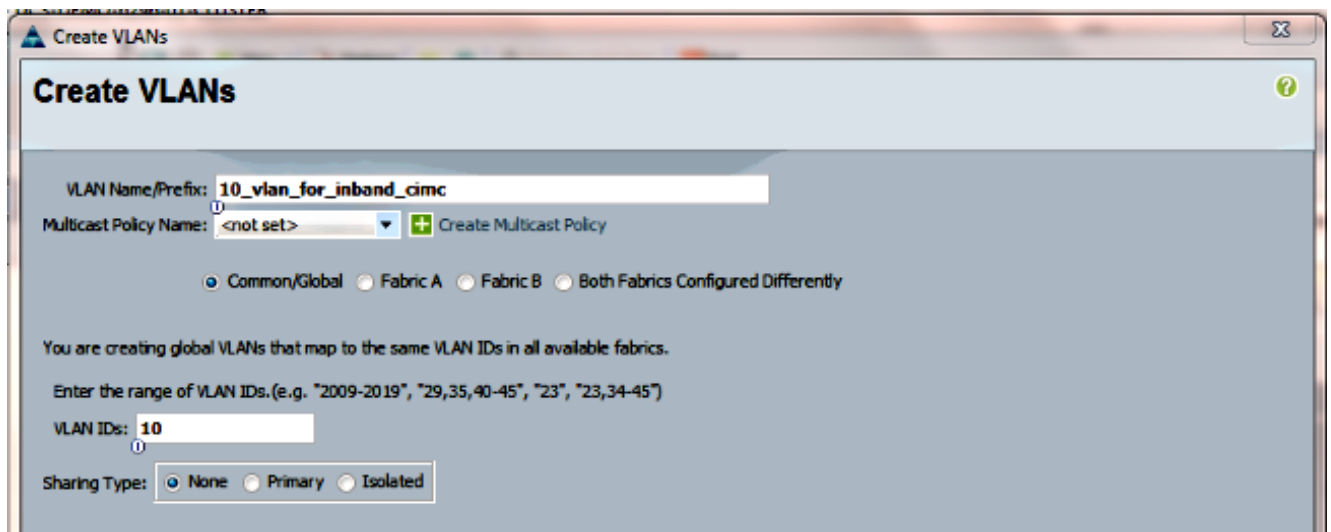
## 2. VLANおよびVLANグループの設定

ここでは、CIMC へのインバンド アクセスに使用する VLAN および VLAN グループを作成する方法、およびアクセス時に経由するイーサネット アップリンク ポートについて説明します。

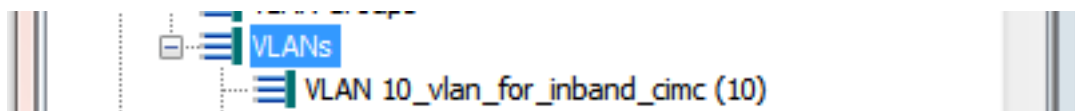
1. [LAN] タブ > [LAN Cloud] > [VLANs] に移動します。
2. 右クリックして [Create VLANs] を選択します。



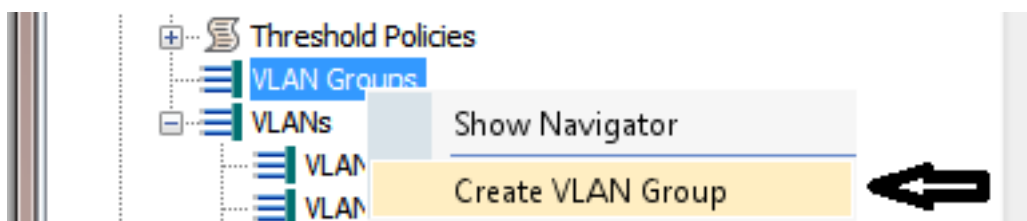
3. VLAN に適切な名前と番号を付けて、[OK] をクリックします。



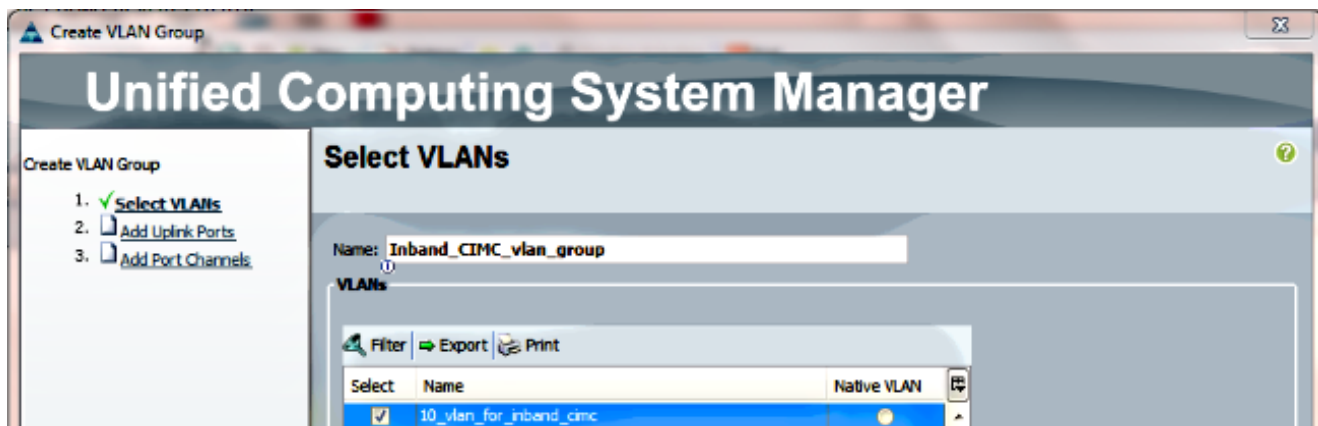
4. VLAN が作成されたことを確認します。



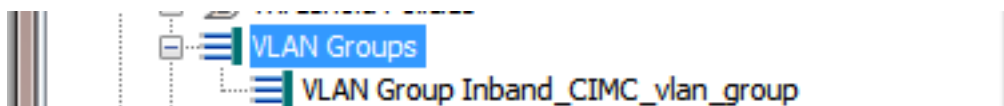
5. [LAN] タブ > [LAN Cloud] で [VLAN Groups] を右クリックし、[Create VLAN Group] を選択します。



6. VLAN グループに名前を付けて、事前に定義した VLAN を選択します。



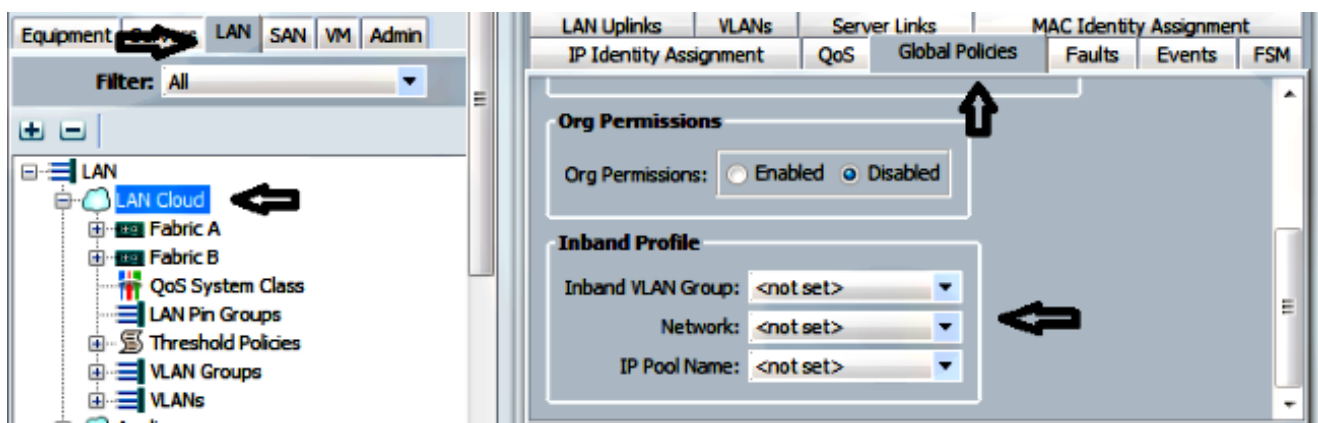
- アップリンクポートまたはポートチャネルは選択しないでください。[Finish] をクリックします。注：特定のアップリンクポートまたはポートチャネルを選択する場合は、サービスの中断を避けるために [VLANグループのドキュメント](#) を読んでください。
- [LAN] タブ > [LAN Cloud] > [VLAN Groups] で、VLAN グループが表示されていることを確認します。



### 3.インバンドプロファイルの設定

ここでは、先に設定した IPv4 アドレス プール、VLAN、および VLAN グループをグローバル インバンド プロファイルに割り当てる手順の概要について説明します。

- [LAN] タブ > [LAN Cloud] > [Global Policies] に移動します。

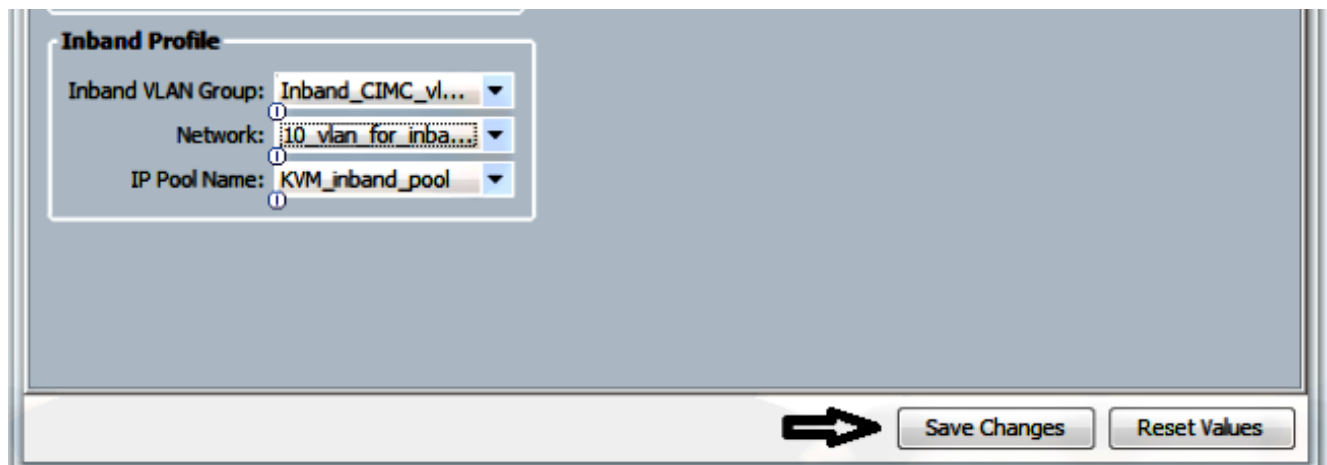


- [Global Policies] ページの [Inband Profile] セクションで次を実施します。

先に作成したグループを [Inband VLAN Group] に設定します。

先に作成した VLAN を [Network] に設定します。

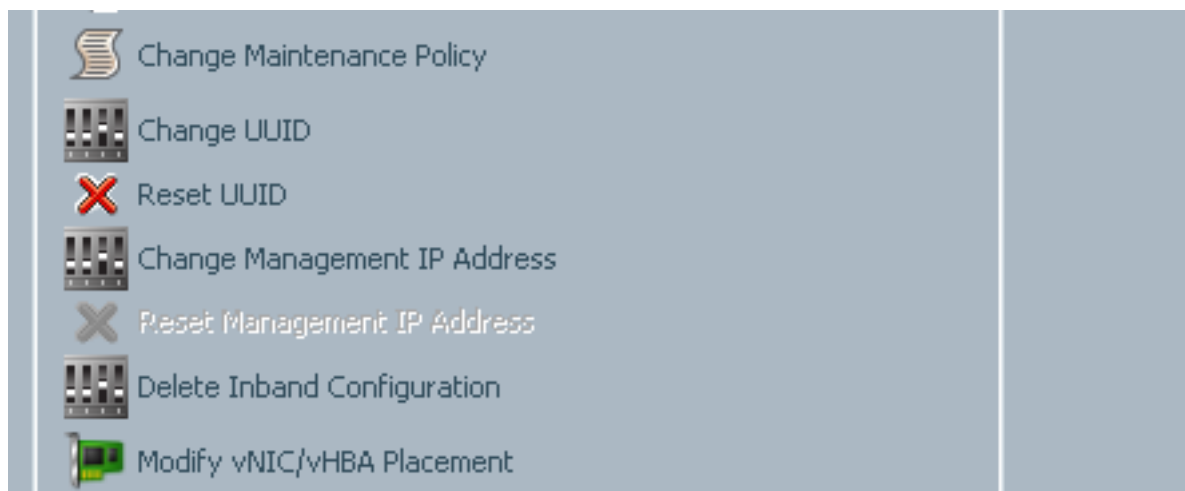
先に作成した IPv4 アドレス プールを [IP Pool Name] に設定します。



#### 4. サービスプロファイルの設定

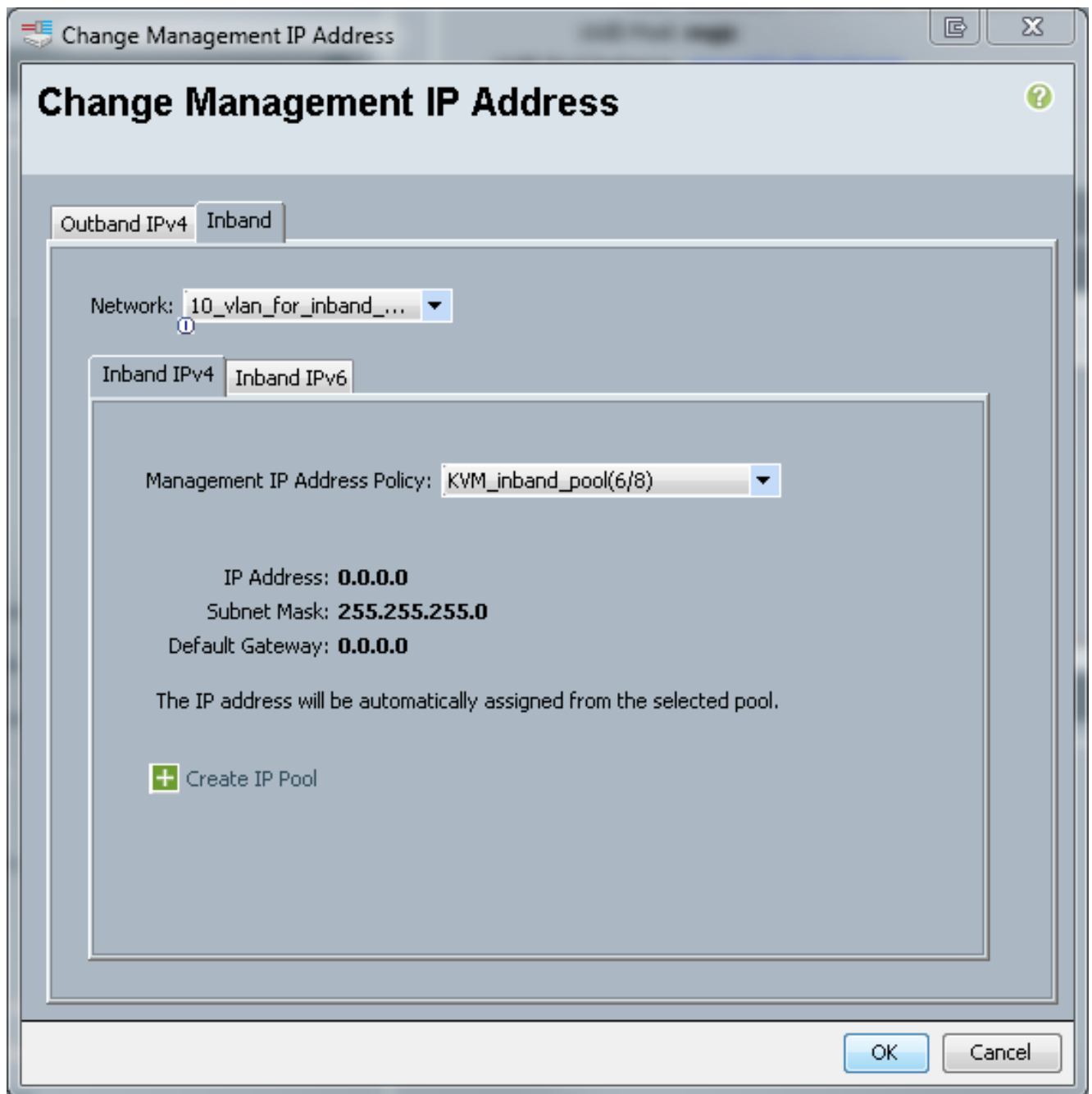
ここでは、先に作成したインバンドプロファイルからインバンド管理 IP をサービスプロファイルに割り当てる手順の概要について説明します。

1. サービスプロファイルにアクセスします。
2. [General] タブの [Actions] で、[Change Management IP Address] を選択します。ポップアップウィンドウが表示されます。



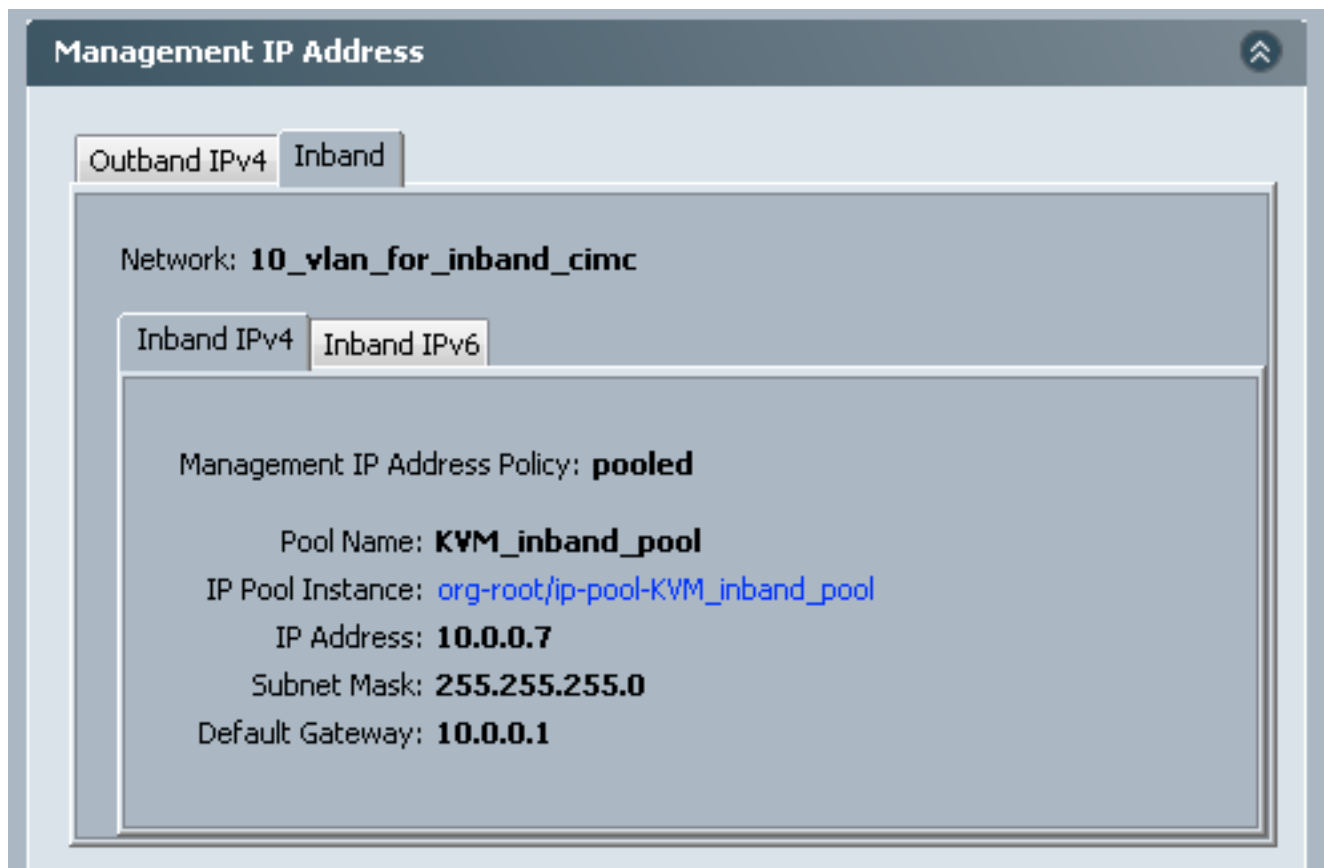
3. 新しいウィンドウで [Inband] タブを選択します。
4. [Network] および [Management IP Address Policy] フィールドに先に作成したオプションを設定し、[OK] をクリックします。

[OK] をクリックするまで IP アドレスは変更されません。



5. [General] タブの [Management IP Address] ドロップダウンで、インバンド IP アドレスがサービスプロファイルに割り当てられていることを確認します。



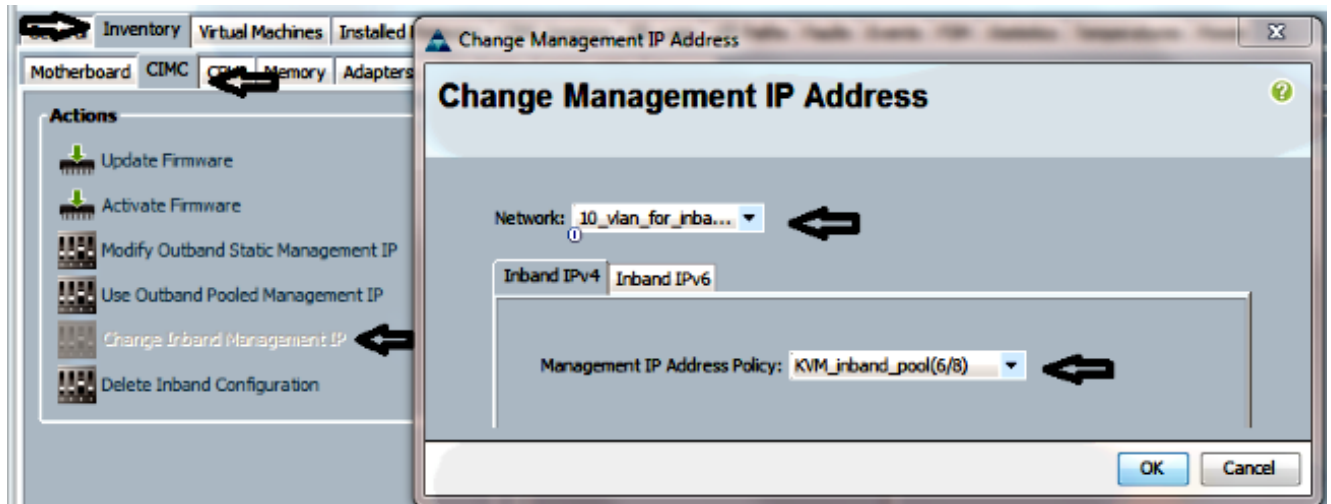


## 5. CIMCの設定

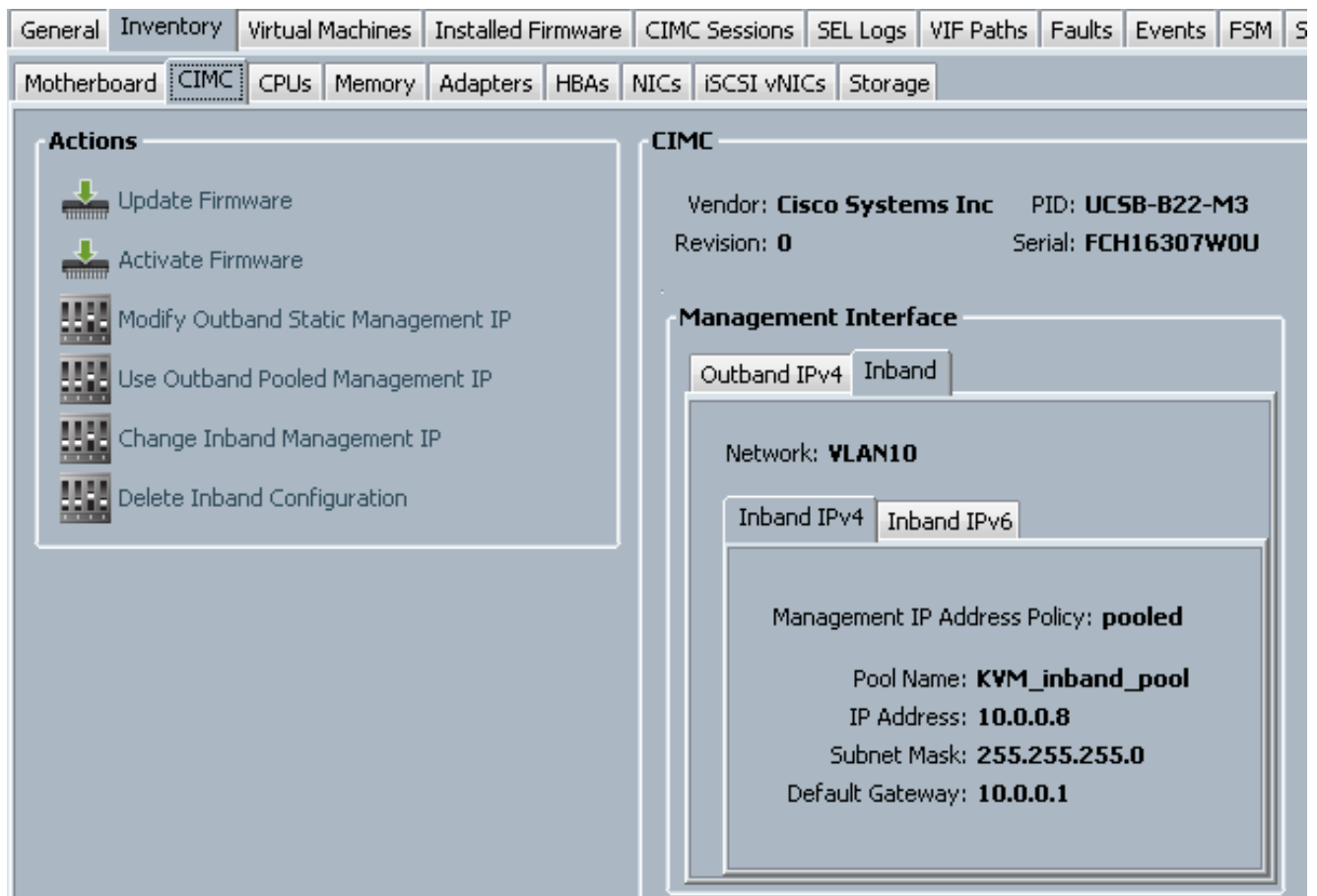
ここでは、先に作成したインバンド プロファイルからインバンド IP アドレスをサーバの CIMC に直接割り当てる手順の概要について説明します。

1. インバンド IP アドレスを設定するサーバにアクセスします。
2. アクセスしたら、[Inventory] タブ、[CIMC] タブの順に選択します。
3. [Actions] で [Change Inband Management IP] を選択します。ポップアップ ウィンドウが表示されます。
4. [Network] および [Management IP Address Policy] フィールドに先に作成したオプションを設定し、[OK] をクリックします。

[OK] をクリックするまで IP アドレスは変更されません。



5. インバンド IP アドレスが CIMC に直接割り当てられたことを確認するには、前の画面に戻って、[Management Address] セクションの [Inband] > [Inband IPv4] を選択します。

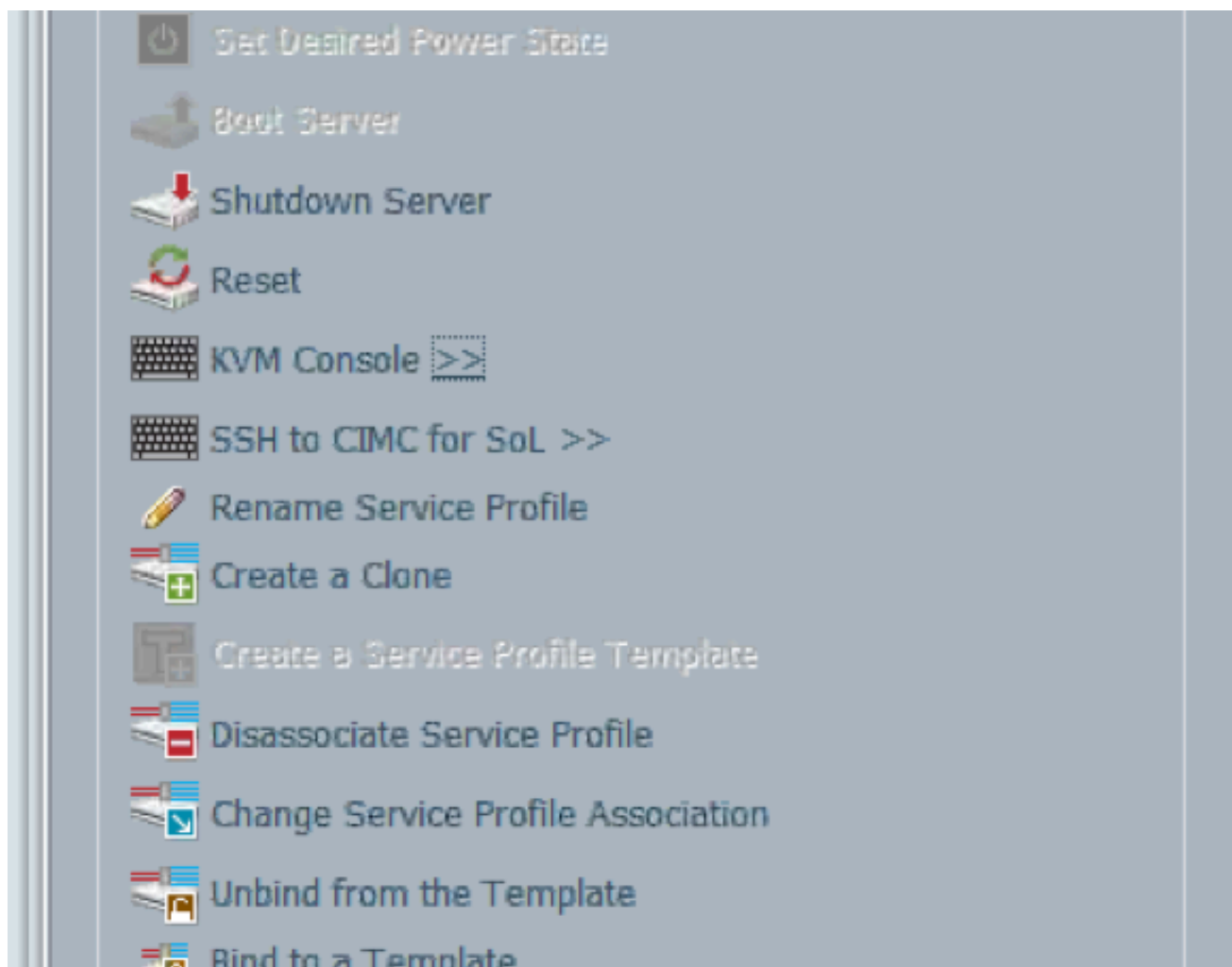


## 確認

ここでは、設定が正常に機能しているかどうかを確認します。

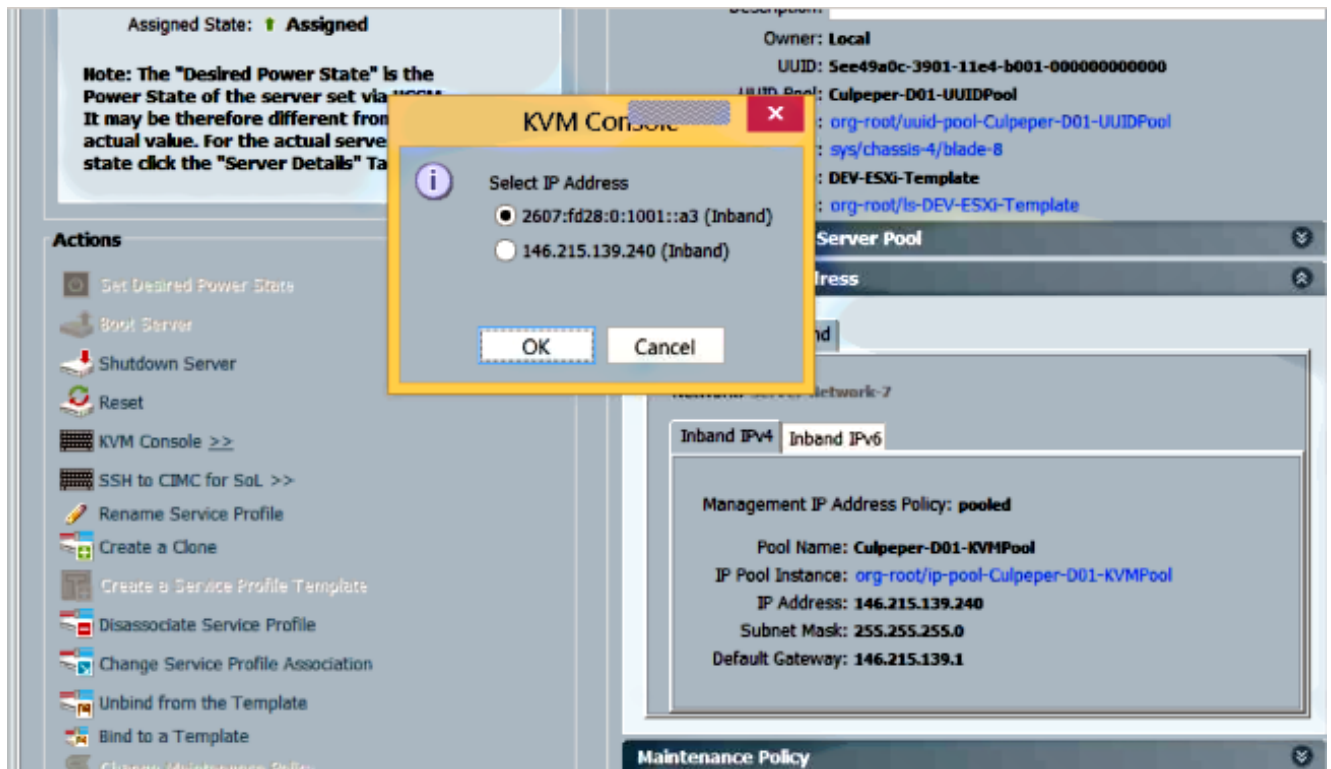
## KVM IPv4 または IPv6 の起動

1. [KVM Console] の横にある [>>] アイコンをクリックします。



2. KVM を起動するために IPv4 または IPv6 アドレスを選択します。

注：IPV6 は最初に使用されるデフォルト アドレスです。ネットワークに IPV6 が設定されていない場合、KVM は起動できません。



## トラブルシューティング

現在、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。